

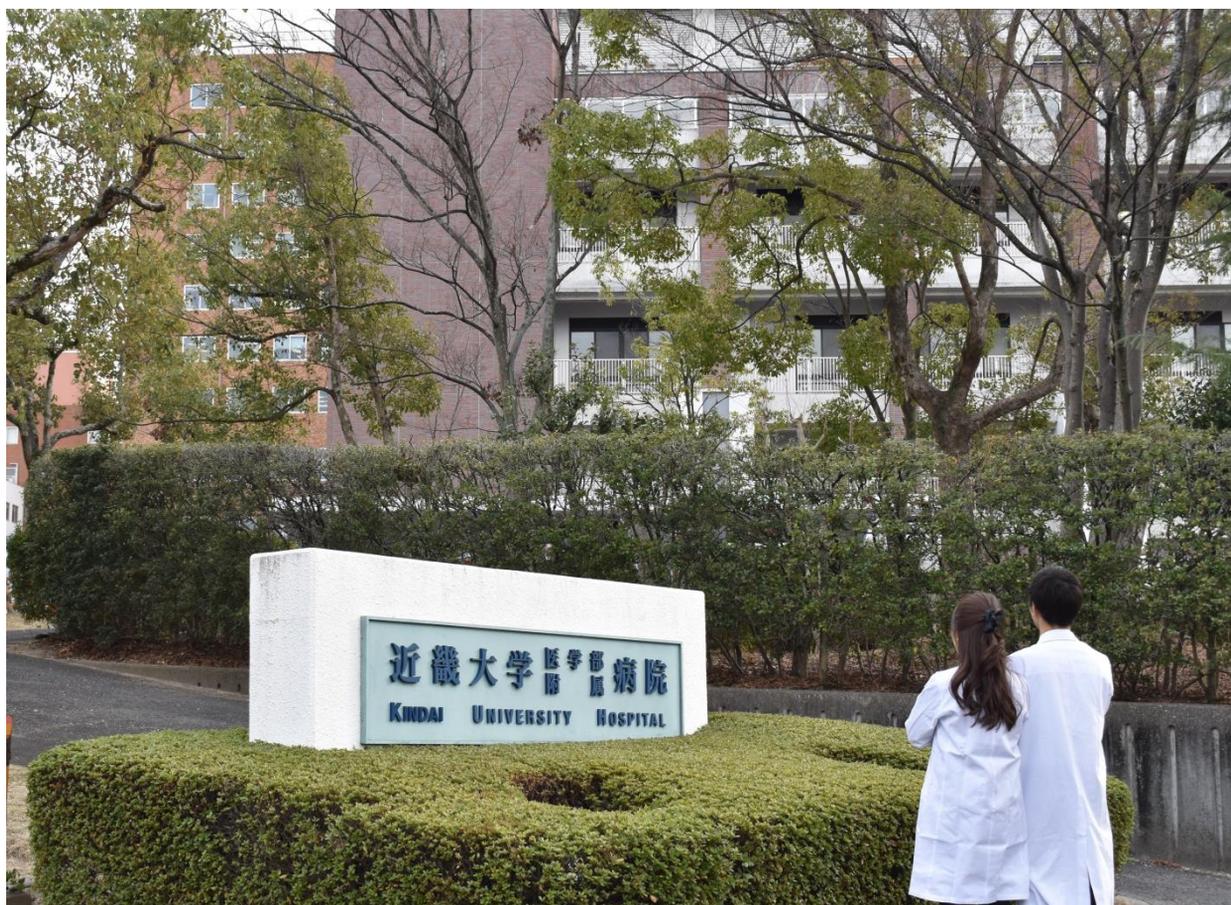
KINDAI CARELINK_{ケアリンク}

INDEX

- 1 ごあいさつ
- 2 診療科からの活動報告
 - 小児科・思春期科(腎臓グループ)
 - 肺炎・地域連携システム
 - 光学治療センター
- 3 連携医登録について
- 4 紹介予約手続方法

Vol. 7

2019 . February



近畿大学

KINDAI UNIVERSITY

医学部・附属病院

KINDAI CARELINK Vol.7

近大ケアリンク

ごあいさつ

遅くなりましたが、新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

いよいよ「平成」という年号も今年で終わりです。しかし、昨年は集中豪雨に列島直撃の台風、更には大型地震に夏の異常熱波と自然災害に見舞われた1年でした。夏の大型台風の時には近畿大学医学部附属病院も雨水による室内の浸水や風による破損などかなりの被害を受けました。皆様の施設におかれましても大変な被害を乗り越えて今日の南大阪の地域医療を支え続けておられることと推察いたします。できれば次の時代は自然災害の少ない平穏無事な世の中であることを祈るばかりですが、いざというときに対する備えは十分整えておくべきと考えます。その意味で近畿大学医学部附属病院は地域の連携の柱としてより地域との距離感を近くし、一致団結して南大阪の医療を支援していく所存です。新年号が変わると共に私達も新しい近畿大学医学部附属病院として生まれ変わるつもりで皆様と共に地域医療の充実と質の向上に努めて参りたいと思います。

さて、隔月でお届けいたします近畿大学医学部附属病院の広報誌「KINDAI CARE LINK」(愛称 ケアリン)Vol. 7をお届けします。

今回は、診療科の話題提供が3つと最後にご案内です。思春期になって相談に困る小児科の「昼間遺尿・夜尿症」の話題、南大阪地域での肺炎死亡ゼロを目指した肺炎・地域連携システムの話題、そして光学治療センターから苦痛のない安全な内視鏡検査の話題です。もし該当する症例などございましたら積極的にご紹介いただければ幸いです。また、最後に連携医登録についてご案内しています。地域の皆様と診療情報を共有することで医療の質と連携の強化を図るものです。ご一読頂き連携医登録について、ご一考いただければ幸甚です。

以上、今後も私達は“頼りになる地域の大学病院”を目指して努力を続けて参りますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

平成31年2月吉日

近畿大学医学部附属病院

病院長 東田有智

副病院長(地域連携外来担当)安田卓司

副病院長(地域連携外来担当)赤尾幸恵

小児科・思春期科(腎臓グループ)

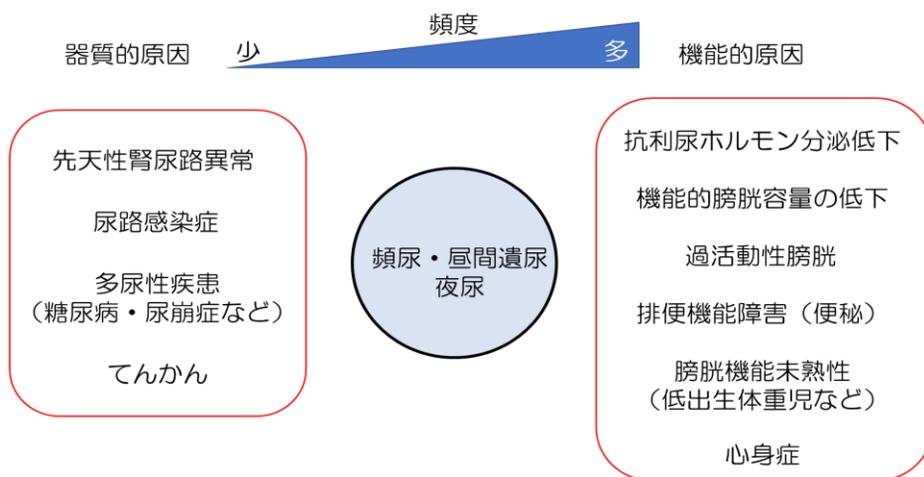
～昼間遺尿・夜尿症でお困りなら～

8割の子どもは5歳を過ぎても「おねしょ」をしなくなりますが、それ以降も続く場合は、「夜尿症」として、発達の遅れや、何か病的な原因の検索が必要となります。病的な要因がなければ、成長とともに1年間で約10～15%の子どもが自然に軽快しますが、思春期まで持ち越す例も少なくありません。

また、夜尿症患者は夜尿のない子どもと比較して、自尊心が低い傾向があります。生活指導を含めた治療介入により、自然経過に比べ、治癒率を約2倍高め、治癒までの期間も短縮することができます。

下記のようなことでお困りであれば、ぜひ一度ご相談ください。

- ・昼間の頻尿、遺尿がある。
- ・既存の治療で改善しない。
- ・10歳になっても夜尿が改善しない。
- ・修学旅行などの学校行事があり、何か対策をとりたい。
- ・頭部MRIや腹部エコーなどの画像評価が十分にできていない。
- ・漢方治療を併用したい。など



小児では心身面の影響を非常に受けやすいのも、頻尿・夜尿の特徴でもあり、発達障害がある子どもでは、そうでない子どもに比べ、薬物療法の反応性が乏しい傾向もあります。さらに近年増加傾向にある低出生体重児では膀胱機能の未熟性から排尿障害を合併しやすいこともわかっています。

小児外科医・泌尿器科医とも連携し、2名の小児科・腎臓専門医でお子さんを診療させていただきます。

【外来診療日】 11時半までにご来院ください。

月	火	水	木	金
杉本圭相 宮崎紘平		宮崎紘平	杉本圭相	杉本圭相

膵炎・地域連携システム

～南大阪地域の膵炎死亡ゼロを目指して 膵炎MAPを作成致しました～

急性膵炎は重症では未だ約10%程度の高い死亡率を有する病気です。膵炎の最新のガイドラインでは、「重症急性膵炎では診断後3時間以内に、適切な施設への転送を検討する」と記載されておりますが、施設間の連携体制や実施している治療内容は地域および施設により様々であり、適切な搬送は困難でした。

そこで我々は、南大阪地域での膵炎患者様の転送がスムーズになされるような情報の共有のために、南大阪地域で急性膵炎を診療している施設へ治療実態のアンケート調査を行いました。そして、アンケートに返答頂いた各病院（医療連携事務、急性膵炎に携わる医師）とともに急性膵炎地域連携構築会議を開催し、地域における搬送の問題点を抽出し、南大阪地域の膵炎MAPを作成しております。

南大阪膵炎MAP2018



病院名	連絡先	住所	軽症膵炎 (EAP2)		重症膵炎		膵炎科併設施設 (重症性膵)	
			日中	夜間	日中	夜間	内線	ネットワーク
1 近畿大学医学部附属病院	072-366-0221	589-8511大阪狭山市大野池377-2	○	○	○	○	○	○
2 岸和田徳洲会病院	072-445-9917	596-8522岸和田市加守町4-27-1	○	○	○	○	○	○
3 びんくろ総合医療センター	072-469-3111	598-8577泉佐野市りんくろ往来北2-23	○	○	○	○	○	○
4 大阪労務病院	072-255-8076	591-8025堺市北区長曾根町1179-3	○	○	○	○	○	○
5 若草第一病院(若草会)	072-988-1409	579-8056東大阪市若草町1-6	○	○	○	○	○	○
6 ベルランド総合病院	072-234-9215	599-8247堺市中区東山500-3	○	○	○	○	○	○
7 永山病院	072-453-1122	590-0406泉南郡熊取町久保東1-1-10	○	○	○	○	○	○
8 阪南市市民病院	072-471-3321	589-0202阪南市下出17	○	○	○	○	○	○
9 恒進会 泉北総合病院	072-299-2020	590-0106堺市南区豊田40	○	○	○	○	○	○
10 富田林病院	0721-29-1121	584-0082富田林市向陽台1-3-36	○	○	○	○	○	○
11 城山病院	072-958-1000	583-0872羽曳野市はびきの2-8-1	○	○	○	○	○	○
12 FJ 病院	0721-24-6100	584-8585富田林市新堂2204	○	○	○	○	○	○
13 和泉市立総合医療センター	0725-41-1331	594-0073和泉市和気町4-5-1	○	○	○	○	○	○
14 八尾徳洲会総合病院	072-993-8901	581-0011八尾市若草町1-17	○	○	○	○	○	○
15 大阪市医療センター	0721-53-5761	586-8521河内長野市太戸東町2-1	○	○	○	○	○	○
16 府中病院	0725-40-2147	594-0076和泉市野子町1-10-17	○	○	○	○	○	○
17 邦和病院	072-234-1331	599-8232堺市中区新家村700-1	○	○	○	○	○	○
18 市立岸和田市民病院	072-445-1000	596-8501岸和田市徳富町1001	○	○	○	○	○	○
19 市立貝塚病院	072-366-5131	597-0015貝塚市堀3-10-20	○	○	○	○	○	○

赤:重症膵炎を常に受け入れ可能な病院
黄:重症膵炎を受け入れることが時に可能な病院
○:常に受け入れ可能、△:場合によって受け入れ可能、×:受け入れ不可能

この膵炎MAPは夜間など地域連携が機能していない状態で特に役立ちます。急性膵炎の患者が来院されたときに、自分の施設に最も近い病院で夜間や祝日などに重症膵炎を受け入れ可能な施設はどこか？また胆石性膵炎などERCPが可能な施設はどこか、ということがひと目でわかり、搬送に有用です。この膵炎MAPは2017年に作成し、2018年度から運用を開始していますが、搬送困難が2017年に39.4%であったものが、2018年度の地域連携構築会議のアンケートで13.3%まで大きく改善していることがわかりました。

	2015年	2016年	2017年	2018年 (膵炎MAP導入)
搬送困難	4/23 (17.4%)	6/21 (28.6%)	13/33 (39.4%)	4/30 (13.3%)

超重症例である局所合併症(被包化壊死など)を合併した患者様や治療に難渋する膵炎患者様も当院では多く受け入れております。このような場合、単一の科では治療困難な病態であることも多く、我々は月に一回院内で膵炎チーム会議を開催しております。この会議には救命救急科、外科、消化器内科、放射線科、栄養サポートチームが参加しており、重症な患者様の治療方針を多職種で相談して診療を行っています。

膵炎MAPのご要望や重症例の相談に関しましては、消化器内科あるいは、地域連携課にお問い合わせください。



2018年11月19日急性膵炎地域連携構築会議の様子

光学治療センター

～苦痛のない安全な内視鏡検査を目指して～

【光学治療センターとは？】

光学治療センターは消化器内科・外科・呼吸器内科・腫瘍内科・心療内科などの医師と、看護師、放射線技師、事務部など複数の部が協力して運営され、主に内視鏡を用いた診断や治療を行っています。胃・大腸内視鏡、気管支鏡、胆膵内視鏡、小腸内視鏡など年間1万5千件ほどの検査や治療を行い、緊急検査も多く、院内でも最も忙しい部門です。

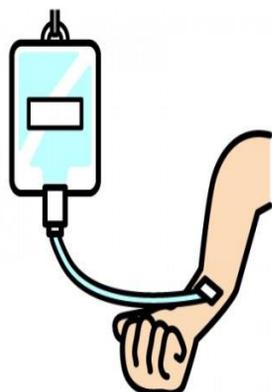
【鎮静下内視鏡検査への取り組み】

内視鏡検査は一般的に苦しい検査と思われることが多く、患者様の鎮静下内視鏡検査への要望は高まっています。そこで光学治療センターでは、鎮静剤を用いた“苦痛のない安全な内視鏡検査”への取り組みを開始しました。鎮静剤は呼吸抑制や循環抑制などの合併症や外来検査では帰宅時や帰宅後のふらつきや嘔気などが問題となります。一方、欧米では半減期が短く覚醒の早いプロポフォールが内視鏡時の麻酔として広く使用されていますが、わが国では全身麻酔薬であり一般的ではありません。

当センターでは全国でもユニークな取り組みとして、病院を上げて麻酔薬や鎮静剤を適切で安全に用いるための職員研修を開始しました。

【全員麻酔科研修と病院からの認定証】

麻酔科や医療安全の協力のもと、光学治療センタースタッフ全員を対象とした講習会、そして光学治療に携わる医師は所属科に拘わらず全員手術室での麻酔科研修を義務化し、合格者には「麻酔下内視鏡施行講習終了認定書」が授与され、晴れて鎮静下内視鏡検査が許可されます。6月に回復室のリカバリーベッド数を増設および全検査台へのモニターを設置し、9月にはほぼ全員の麻酔科研修が終了しましたので、外来での鎮静下内視鏡検査枠を大幅に増やすことができました。



モニター



リカバリーベッド

連携医登録について

地域の医療機関との機能分担を図り、信頼関係のある質の高い病診・病院連携を推進することを目的とした連携医登録の主旨にご賛同いただける場合は、連携医登録させていただきます。

ICTを利用した地域医療連携ネットワークシステムについて

概要

地域の医療機関をつなぐ連携ネットワークを構築することにより、診療情報(カルテ情報、画像、レポート等)の共有が可能になります。

(近畿大学医学部附属病院)

情報提供施設(近畿大学医学部附属病院)は、「SS-MIX2標準ストレージ」にデータを出力し、地域連携サーバを経由して連携先の医療機関に診療情報を公開(24時間情報閲覧可)

※SS-MIX2標準化(及び拡張)ストレージへのデータ出力は多くのベンダが対応済みの標準化技術(SS-MIX:厚生労働省電子的診療情報推進事業)



セキュリティについて

情報参照施設や情報提供施設とデータセンター間はIPSec-VPNを利用して高度なセキュリティが確保された通信網を使用。

情報参照施設側に必要なもの

インターネットに接続できるパソコンが1台あれば、地域医療システムをご利用いただけます。

【パソコンの環境条件】

①Internet Explorer6.0～11.0が動作すること。

②OSのVPN設定を行うこと。

(VPN(Virtual Private Network)とは、インターネットに接続されている利用者間に、仮想的な通信トンネルを構築したプライベートなネットワーク。通信経路を認証や暗号化を用いて保護することにより、第三者が侵入することのできない、安全なネットワークです。)

③ウイルス対策の実施やWinnyなどのファイル共有ソフトを削除すること。

情報参照していただけるもの

- 患者基本情報
- 病名
- 処方歴
- 検歴
- 各種オーダ情報
- 医師の記載
- 看護記録
- サマリー
- 経過表
- 画像情報
- 各種レポート

その他

・当院へ通院歴のある患者から同意(別添)をとっていただき、同意書を近畿大学医学部附属病院地域連携課までFAXしていただくと、すぐにその患者の情報を公開します。

・施設基準に適合しているとして近畿厚生局へ届出されますと、

「電子的診療情報評価料」として30点算定していただけます。

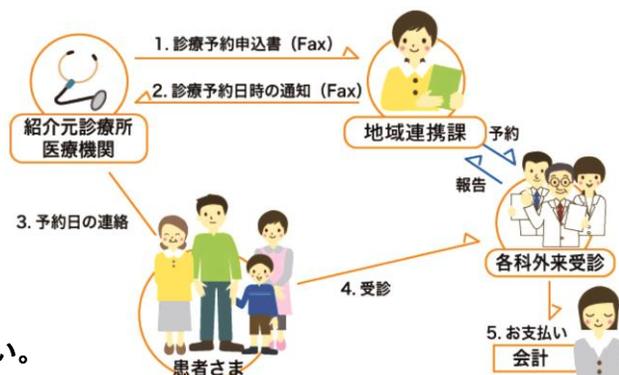
(診療情報提供料(Ⅰ)を算定する他の保険医療機関からの1回の診療情報提供に対し1回のみ)

ご希望される医療機関は、地域連携課までお申し出ください。

紹介予約手続き方法

紹介予約手続きは紹介元の医療機関を通じて行って頂きますようお願い致します。

- 1 診察予約申込書に必要事項をご記入のうえ、地域連携課までFAXをお願い致します。
- 2 患者さまのご希望の日時で予約をとり、「診療予約日時の通知」をFAXにて返信させていただきます。
- 3 患者さまに予約日時等をご説明頂き、診察予約日時のご通知・紹介状をお渡しください。



地域連携課 直通TEL:072-366-0257 FAX:072-365-7161

緊急患者紹介方法について

地域連携課

直ちに専門医療が必要な症例、
病院事務から専門医に電話回送

072-366-0257

救命救急センター (24時間体制)

重度外傷・重症疾患、中毒・熱傷、
その他の高度な救急医療

072-366-0250

脳卒中コール

脳卒中(発症24時間以内の麻痺、言語や意識障害、
急性頭痛を呈する軽症から重症の患者)、
くも膜下出血、脳腫瘍又はその疑い

072-366-0920

ハートコール

狭心症、心筋梗塞、心不全、不整脈、
大動脈解離又はその疑いなどの重症循環器疾患

0120-145-810

周産期コール

産科救急(母体救急、胎児救急)、婦人科救急

072-366-0133

緊急時要請出動ドクターカーシステム

循環器疾患患者さまで緊急治療を要する場合、医療機関からの要請(相談)に応じ、
医師がドクターカーに同乗し、患者さまをお迎えにあげります。

ハートコール心臓血管センター

0120-145-810

心臓血管外科

072-366-0221 (内線3138)



近畿大学 医学部・附属病院
KINDAI UNIVERSITY

KINDAI CARELINK vol.7 2019年2月
お問合せ先/地域連携課
(直通 072-366-0257)